OUR SPORTS 東京
新日本スポーツ連盟東京都連盟機関紙

〒170-0013 豊島区東池袋 2-39-2 大住ビル 401
TEL: 03-3981-1345　FAX: 03-3981-8315
E-mail　njsf@tokyo.email.ne.jp
URL　http://www.t-njsf.net/tokyo/

2015 年 12 月 28 日
1・2月号
発行責任者：萩原 純一

東京都連盟創立50周年の年をむかえて

明けましておめでとうございます。

「OURSPORTS東京」新年号によせて、新年のごあいさつを申し上げます。

今年は、東京都連盟が結成されて50周年の年を迎えます。50年前の4月22日、東京で「スポーツをする権利」を理念にした新日本スポーツ連盟の活動が始まり、「いつでも、どこでも、だれもがスポーツを」というスローガンに多くの共感を生み、各地でスポーツ活動が広がりました。50年を経た今日、東京都連盟が10000人を超える大きな組織となっていることは、歴史的に大きな役割を果たしてきたことを私たちに教えてくれています。当時、まだ「スポーツ権なんか思い上がりだ」「体育協会があるのだから他のスポーツ団体なんか必要ない」的な風潮がある中で、スポーツ愛好者の自主的な活動として広がってきたことに、大きな意味がありました。どうですか、今では「スポーツ基本法」の基本理念に「スポーツを通じて幸福で健康な生活を送ることは人々の権利である」と謳われましたし、国や地方公共団体の責務やスポーツ団体の努力が明記されるに至っています。これからの50年は、スポーツ基本法を基にした国や地方自治体のスポーツ施策が具体的に進行するようにかじ取りしていく時代になるでしょう。法律ができただけでは、国や自治体はそれを積極的に進めることはありません。まさしく、国民や都民があらゆる場所で「スポーツ基本法」に基づいたスポーツ施策を要望し、改善を図る運動があって実現していきます。ただ、50年前と違うのは、今は「基本法」という共通の指針が明確になっていることです。国や自治体が市民のスポーツ実施率（1週間に1回以上の）を70～85%程度まで引き上げるという目標を掲げていますが、その具体的施策となるとはっきりしませんし、そのための財源確保については、きわめて消極的です。

「基本法」第5条では、スポーツ団体の努力として、基本理念に則りスポーツを行うものの権利利益の保護とスポーツの推進に主体的に取り組むように努力すると明記されました。これまで、国や地方自治体が視野に入れてきたスポーツ団体は「体育協会」と限定されて助成制度などが行われてきましたが、これからは、たくさんの自主的なスポーツ団体が努力して人々の身近なところでスポーツができる環境をつくることに努力されなければなりません。そのことで人々の「スポーツ権」が初めて保障されてくると思います。スポーツの現場では、体育協会にも参加しスポーツ連盟にも参加してスポーツ活動をしている人はたくさんいるのですから、互いに協力し合って「スポーツ権」の実現のために力を合わせていきたいものです。国や地方自治体のスポーツ施策にそのことが反映されることを期待しています。そうした時代にふさわしく、国や地方自治体が、「スポーツ基本法」に寄り添ったスポーツ行政を進めるならば、「いつでも、どこでも、だれもがスポーツを」できる時代はすぐそこまで来ていると思います。

今年は、東京都連盟のすべての種目組織、地域組織で、飛躍の年になることを誓い合って、活動を展開しましょう。東京都連盟50周年をすべてのスポーツ愛好者に知らせて共感を広めましょう。（東京都連盟理事長　萩原純一）

東京都連盟のスポーツ活動から

自己との闘い ～距離と記録に挑戦～ 第16回中長距離水泳大会

12月20日、辰巳国際水泳場にて今年最後の大会が行われました。「長距離の水泳大会を」という要望に応え、この大会は 1500m・800m・400mの種目で開催されています。およそ300名の選手が参加、他との競争というよりも自己との闘いとしてレースに臨んでいるようです。

参加者の方への計時の説明

ラップタイムの計測や距離確認など役員の任務も多く、参加選手のみなさんにも計時員の協力をお願いしています。参加レースに影響のないように配慮してシフトを組んでいますが、当日棄権などもあり、役員の方々にはかなり無理なお願いもしています。役員でも選手兼任が多くて、本当に私たちの大会は参加者のみなさんの協力のもとに成り立っているのだ、と痛感しています。

これからも多くの方に喜ばれる大会を目指して、進化していきます。

（東京水泳協議会 穴原康子）

オリンピック選手も出場!! ～第14回検見川クロスカントリー大会～

東京大学検見川総合運動場で、東京スポーツ祭典と千葉スポーツ祭典として、12月20日に第14回検見川クロスカントリー大会が開催されました。前日まで寒く、風の強い日が続いていましたが、大会当日は天候にも恵まれ、約400名が参加し、穏やかでランニング日和のなかでのレースとなりました。

クロスカントリコースもここ数年の中で一番状態がよく、好記録が出るのでは?と予想したところ、男子39歳以下の部（10km）で稲毛インター所属の米谷哲選手が35分03秒の大会記録をマークしました。また、女子一般（10km）では、オリンピック選手で稲毛インター所属の上田藍選手が出場し、37分31秒で優勝しました。

昨年に続き、好評だったレース後の交流会

昨年に続いて参加者とのふれあいをと、今年もレース終了後に、選手や大会役員を交えて交流会を開催しました。開始直後は少ない参加でしたが、時間が経過するにつれて人が続々と集まり、盛況な交流会となりました。今後も参加者の要求に応え、より良い大会にしていきたいと思います。

＜東京都連盟公式 facebook ツイッター＞

https://www.facebook.com/njsftokyo

https://twitter.com/njsftokyo

中野区連盟創立40周年記念イベントを終えて

1975年12月27日中野区連盟が創立して 40 年。昨年10月より準備を開始した。本来は厳かに開会宣言、来賓挨拶、顕彰と続くのだが我が中野区連盟にはその40年の長い歴史がほとんど記録されていない。記念レセプションにはならない。中野区民にスポーツの楽しみ、そして“だれでも、どこでも、いつでも”のスポーツ基本法の精神に則って区民が運動出来る環境作りを目指す中野区連盟の PR の場に焦点を絞った。運動会、マラソン大会、各種目別協議会主催のスクール等企画案が沢山出たが場所確保の問題、雨天対策など考え、インドアーでの企画に決めた。オリンピック経験者の一流アスリートの講演を目論みマラソンの有森裕子、高橋尚子、水泳の鈴木大地、北島康介選手への交渉は難航したが、東京国際女子マラソン優勝経験者、地元中野第10中学校卒業の谷川真理さんに決定。会場は幸い一昨年開校したばかりの中野区立中野中学校の体育館を確保出来た。記念講演を目玉に、健康体操、内閣府認定・体力つくり指導協会の“体力測定”の三本立てを企画する。中野区の後援、そして医師会、歯科医師会にも後援名義をもらい、其々の会員に連絡網でチラシの配布を依頼した。 参加者募集の為、理事全員10人奔走、地域分担制として宣伝/PR に努めた。中野区掲示版「中野区のお知らせ」(497ヶ所)に7月ポスター(小)、8月には同「区民のひろば」(192ヵ所)に掲示。区民地域センター、図書館、区民会館・劇場、運動施設と人目の着く所にポスター、チラシ掲示。しかし、その努力にも関わらず申込みはほとんど無い。対象を一般区民から年齢別に分析、中学生、シニアに焦点を合わせた。記念講演は体育系の学生には興味があると中学校に PR、健康体操はシニアにと区主催“生涯学習大学“生徒に PR、これが功を奏した。また東京都連主催のゆりかもめリレーマラソン大会開会式に参加し、主催者の協力を頂き、そこでも PR に努めた。

谷川真理さんの講演

健康体操の様子

当日12月13日(日)、生憎の小雨模様、しかし180名を超える参加者があった。谷川さんの講演は映像をうまく駆使し、マラソンの馴れ初めから学生時代、実業団での活躍、海外ボランティア等幅広い活動、マラソン一筋の迫力のある話であった。体力測定は会員同士も二人一組で参加、和気藹藹、談笑の中で楽しい交流の場にもなった。スタッフ全員の記念写真で長かった厳しい道程のイベントが無事終了した。(中野区連盟 副理事長 三浦 徹)

おめでとうございます!! 全国大会で入賞された東京都連盟で活躍しているメンバーのご紹介♪

▼卓球 一般の部(12/19～20)

・男子団体 優勝 T.O.M&卓球三昧 3位 丸善クラブ

・女子団体 優勝 T.O.M&卓球三昧 3位 クラブRUNA／荻体クラブ

・男子個人 優勝 戸辺春希(ナミーズ)

▼バドミントン(12/5～6)

・男子シニアダブルス 30 歳の部 準優勝 安藤友一・斎藤啓一

・男子シニアダブルス 50 歳の部 優勝 工藤弘明・村上知也

・女子ダブルス1部 優勝 石川華乃子・伊藤志織

・女子ダブルス2部 3位 大瀧菜月・橋本愛

・女子シニアダブルス 30・40 歳の部 優勝 倉重友美・水野良恵

▼テニス(11/28～29)

・女子シングルス 3位 藤本万莉子

T.O.M&卓球三昧

戸辺春希さん(ナミーズ)

村上知也さん、工藤弘明さん

東京都連盟スポーツカレンダー　2016 年２月～３月

卓球

・プログレスリーグ卓球大会
2/3（水）東京体育館
・ミックスペアマッチ&女子ペアマッチ
2/6（土）東京体育館
・関東オープンレディースダブルス
2/23（火）東京体育館
・ABC=XYZ 団体戦卓球大会
3/21（祝・月）東京体育館
・中高生卓球大会　3/30～31（水～木）
駒沢体育館・東京武道館・東京体育館
・第 21 回ラージボール卓球大会
3/31（木）東京体育館サブアリーナ

■練馬区

・MIIX 団体戦
2/14（日）中村南体育館

■北区

・ABC=XYZ 団体戦
3/13（日）桐ヶ丘体育館

■板橋区

・レディース・ペアマッチ卓球大会
2/20（土）上板橋体育館
・オープン・ペアマッチ（男・女）
3/26（土）上板橋体育館

■中野区

・ダブルスリーグ戦
2/27（土）中野体育館

■世田谷区

・世田谷オープン卓球大会　Ｐリーグ戦
3/31（木）世田谷区総合運動場体育館

■町田

・町田オープン３ダブルス団体大会
3/19（土）町田総合体育館

■多摩

・年代別シングルス卓球大会
3/3（木）エスフォルタアリーナ八王子

ランニング

・第14回多摩川ロードレース
2/14（日）国立市営河川敷グラウンド横
・月例赤羽マラソン
2/28（日）荒川河川敷

テニス

・駒沢オープン団体戦
2/21（日）駒沢公園テニスコート
・新春オープンテニス大会
2/28（日）有明テニスの森公園
・新春オープン団体戦
3/6（日）有明テニスの森公園

■中野区

・春季テニス交流会　3/13（日）

■板橋区

・ミックスダブルス大会
2/20（土）新河岸コート
・男女ダブルス大会
3/5（土）新河岸コート

バドミントン

■北区

・北区スポーツ祭典高校生オープン大会
3/23（水）31（木）滝野川体育館

サッカー

■北区

・サッカーリーグ戦
2/14（日）21（日）28（日）荒川サッカー場

野球

■板橋区

・第52回板橋スポーツ祭典軟式野球大会
2/14（日）21（日）28（日）小豆沢野球場

バレーボール

■板橋区

・第52回板橋スポーツ祭典
レディースバレーボールオープンリーグ
2/7（日）14（日）赤塚体育館
Mix バレーボールオープンリーグ
3/20（日）赤塚体育館

ウォーキング

・下町ぶらぶら（オプション）
2/13（土）東京外門前仲町駅 10 時集合
・西郷山から羽根木公園まで（例会）
2/21（日）JR 渋谷駅モヤイ像 10 時集合

水泳

・第11回東京水泳フェスティバル
2/11（木祝）東京辰巳国際水泳場

スキー

・第 40 回東京競技大会
2/6～7（土）舞子スノーリゾート
・湯の丸山・山スキー教室
2/13～14（土～日）
・石打花岡SL練習会+記録会
2/27～28（土～日）
・乗鞍岳山スキー入門教室
3/12～13（土～日）

～ 編集後記 ～

新国立競技場がＡ案に決まったと喜んでいられない。オリンピック・パラリンピックの運営費総額が1兆8千億円（当初見込みの6倍）に膨れ上がったという報道は、見過ごせない。わかっていたのに、今頃になって出すなんて、手が込んでいる。大会組織委員会の集金能力は、チケット収入やスポンサー収入などを入れても、5000億円に達しません。運営費の不足分は、開催都市が負担することが原則となっているとなれば、更に1兆5000億円も拠出するってことに。大会組織委員会は、責任をとって人事を刷新し、現計画を見直す必要があると思うけどな。（H）